
鉄牢 アイアンゲージ

りょう

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

鉄牢 アイアンゲージ

【Nコード】

N7002Y

【作者名】

りょう

【あらすじ】

鉄牢は5年間暖めた設定です。会話重視のテンポ良い作品になるようにがんばります。

「で、砂漠から戻ってきた商人は、どうなったんだ？」

酒場はMOBの上げる乾杯の掛け声、行き交うNPCたちの鎧と武器の擦れる音

あらゆる音が溢れていた。

モニターの向こうに座る情報屋とのボイスチャットはそんなノイズによって多少聞き辛い。

「俺は情報屋だぜ、わかるだろ？」

ヘッドホンの向こうから男の声が響く、少し低くかすれるような、落ち着いた、なんだか諭されているような声だ。

モニターの向こうでは、ダークブラウンの髪を真ん中から分けた人間族の男が喋っていた。

「といっても、もちろん口パクのアニメーション処理だが、相手のモニターにも俺のキャラクターが同じように写っているに違いはない。

「いくらなんだ。」

「30,000コロ？」情報屋はニヤリと笑って、トレードウィンドウを展開する。

「30,000コロ！高いんじゃない？」だって現金換算30円だぞ。

「ほかの情報屋はもっと安いかな、しかし、つかまされるネタは鮮度が古い。稼いでるんだろ？」

「それは、あんたに、振舞うためじゃない。10,000コロだ」

「25,000が限界だな、嫌なら他をあたれば良しさ。」

「その情報は何人に売ったんだ？ 15,000」

「独占したいならそれなりに払ってもらうが、、どうする？」

「20,000以上は出さないよ。それほど重要じゃない。」

「いいね、20,000コルで手を打つよ。これは他言無用。よいかな？」

「了解、トレードだ。」

俺はトレードウインドウを開いて、情報屋のスクロールと20、000コルをトレードした。

「毎度ありw、やつはこの町にたどり着いて死んだ。」

「死んだあ?!」ふざけるな俺の30円そんなことで巻き上げるのか!?

「そう、表向きは、そうなってる。しかし、実際は、町の衛兵によって、ヨルムの町に極秘に移送された。」

現在はヨルムの療養施設3号棟にいる。名前はハジだ。」

「何か話したんだろ? 新大陸のこと。」

「リザードマンが出たらしいな。これはサービスだ。」

「砂漠にリザードマン?」

「まあ、錯乱した只のうわごとだがね。じゃあ そろそろいくわ。よいトレードだった。」

情報屋はモニターの向こうに消えていく、それに合わせてモニターの画面も、密談モードからワールドモードに変更された。今は3D画面で人の行きかう酒場が表示されている。とりあえず、ヨルムに行ってみるか。

そうそう、忘れていた。俺はリク 剣士だ。

MMORPGは専門誌が発売され、学生、社会人を中心に、男性だけじゃなく女性も巻きこんで

市民権を得てきている。

その中であって、ある種異質なMMORPGがある。

マジウス社の配信する「アイアンゲージ」 鉄牢だ。

ゲームのシステムは特に特筆するべきものは無く、選べる種族、職業も他のMMORPGに比べ、むしろ劣っている

魔法が回復職しかないMMORPGってどうよ？弓以外の遠距離攻撃手段がないって、ありえねえ。

しかし、毎号専門誌に特集ページがくまれるほどの注目度を誇っているのは、極端なまでの秘密主義と、

リアルトレード公認、AIとは思えないNPCの対応、そして、ネットに潜む一攫千金を前面に押し出した、

企業姿勢の賜物だろう。

アイアンゲージは本来、迷宮探検をメインにすえた探索型MMORPGとしてスタートした。

それは今も変わってはいない。

ただし、迷宮がどこにあるかを探索することから始まるMMOはどうかと思うぞ。

グランドクエストらしいものが存在しない・・・始まりの都市で、本来あるはずのチュートリアルが

「知りたいことは、町の皆に聞くと良いぞ。では、がんばってな。」の一言で終わったときは

どうしようかと途方にくれたが、酒場で知り合ったプレイヤーに有志によるHPを教えてもらったので何とか
続けている。

結果的に酒場で聞いて教えてもらったのでチュートリアルは有効だったが、

これでいいのかマギウス社と本気で頭を抱えた。

HPは当然ワンクリック課金アフェリつきだったが、本当に色々なことが書かれていた。

モニターの見方から、ボイスチャットの方法まで。

それまではただのチャットしか使えなかったし。

ボイスチャット まじらくちん。

NPCとの会話も違和感がないのはびっくりだけど。

俺はボイスチャットを覚えてからギルド登録もできたし、

装備の購入に値切りもできた。NPCと値切り交渉、これってすごくねえ？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7002y/>

鉄牢 アイアンゲージ

2011年11月21日17時24分発行